資源×学情
連携企画

生きものを、どう伝える？

―フィールドと博物館、二つの現場から―

フィールドの**調査**から博物館の**展示**まで、
生きものの魅力を見いだし、標本・展示として残し、
人と自然をつなぐ**伝え方**を考えるシンポジウムです。

GUEST 01

大橋 紘樹 氏
国立科学博物館
（特別展担当／巡回展担当）

特別展の企画から展示づくりの舞台裏まで

特別展の企画・制作 ／ 研究成果の伝え方の工夫 ／
他分野との連携 ／ 特別展「生きものたちの性」の準備とやりがい ／
表には出にくい展示制作のエピソード



GUEST 02

打和 宏介 氏
奄美大島世界遺産センター（事務局）
奄美海洋展示館（飼育員）

奄美の自然と人をつなぐ、フィールドの最前線

奄美の海と生きもの ／ 飼育・展示解説の舞台裏 ／
世界自然遺産の魅力発信 ／ 島が抱える課題と未来 ／
現場で求められる人材



2026.11.13(Fri.)

16:20-17:50

東京農業大学　厚木キャンパス
トリニティーホール（5限）

司会　工藤光平（学術情報課程）・佐々木 剛（野生動物学研究室）
対象　学生・教職員（事前申込不要・聴講自由）
主催　学術情報課程 × 生物資源開発学科